

まちの話題



見事なお点前を披露

1月19日、千年コミュニティセンターで千年地区自治協議会主催による千年保育園児との交流お茶会が行われました。

健康福祉部会員と老人クラブ会員等がお客様として参加し、園児のハンドベル演奏、お抹茶のお点前が行われました。

毎月1回練習してきた園児たちは、お客様への初めてのお点前に緊張しながらもしっかりと披露しました。



PR 大使に任命しました

2月1日、マイナンバー普及を図るうきは市とスマホ申告の普及を図る久留米税務署が、ルリー口福岡の西村選手をマイナンバーカード普及 PR 大使として、黒川選手をスマホ申告 PR 大使に任命しました。

大使として任命された2人は、スマートフォンを使った確定申告「e-TAX」の模擬体験イベントに参加し、スマホ申告の便利さを体感しました。



災害時等における物資の供給協力に関する協定を締結しました

1月26日、コトブキシーティング株式会社と災害時等における物資の供給協力に関する協定を締結しました。

この協定はうきは市とコトブキシーティング株式会社において、同社が生産するスリープカプセル等を災害時に供給いただき、避難所等で活用することを目的としています。

同社の相田憲昭専務から「災害時にお困りの方にどういった貢献ができるか今回の協定を契機に話していきたい」と語っていただきました。また、今回の協定を受けて簡易組み立て式カプセルベッドを一床寄贈いただきました。





拠点校方式の部活動で初優勝

令和5年度福岡県中学校体育連盟主催の大会参加資格が緩和され、拠点校での参加ができるようになり、浮羽中女子剣道部として、浮羽中学校（4名）と吉井中学校（1名）の混成チームで出場し、うきは市として初めて優勝しました。

※中学校では、生徒数の減少や指導教員の不足など、単一の学校では特定の競技等の部活動の設置ができない場合など、複数校の生徒が拠点校の部活動に参加するなど、学校間での連携を図り、拠点校方式等の取組を推進しています。



とびうめ教育表彰式で受賞

2月6日、優れた指導力と専門性を有し、効果的な実践をしている教職員として永田悦子先生（写真中央）が「福岡県公立学校教育マイスター」にうきは市として初めて認定されました。

また、教育課題の解決に積極的に取り組まれた教育実践に関する論文を表彰する「ふくおか教育論文表彰」一般の部で矢野沙織先生（写真左）が、若年の部で香月翠先生（写真右）が優秀賞を受賞しました。



大谷翔平選手からグローブが寄贈されました

1月下旬、MLBのロサンゼルス・ドジャースに所属する大谷翔平選手から、市内の小学校（7校）へ野球グローブが3個（右投げ用2個、左投げ用1個）が届きました。

大谷選手は、このグローブが「私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボル」となることを望んでいます。学校で大切に使用させていただきます。



防火の願いを絵にこめて

浮羽地区防火委員会と浮羽消防署が共催で、久留米市田主丸町及びうきは市の保育園（所）、幼稚園の園児（年長児）を対象に実施している「第40回幼年防火図画コンクール」で応募総数358作品の中から、優秀賞及び入賞の合計60作品が選ばれました。

作品展示期間 3月1日（金）～3月7日（木）
 作品展示場所 （田主丸町） ザ・ビッグ田主丸店（吉井町） ゆめマートうきは店（浮羽町） サンピットバリュー浮羽店